

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	ノートルダム女学院高等学校
所在地	京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町110
電話番号	075-771-0570

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>創立以来、時代のニーズに応えながらキリスト教精神に基づく〈Virtus et Scientia〉「徳と知」を建学の精神として教育活動を展開してきました。「徳」とは〈愛する〉〈希望する〉〈受容する〉〈共感する〉等に表される人間の内面の力。「知」とは知識や知的能力を超える知恵を意味します。</p>																																										
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>「徳と知」の精神を、「キリスト教教育」「グローバル教育」「女子教育」を3つのカテゴリーとして教育の柱にしています。3つの教育を具現化、すなわち「個の尊重」（一人ひとりの可能性の開花）、「心の育成」（ノートルダムスピリットの醸成）を教育プログラムとして、キリスト教的全人教育を目指します。</p>																																										
<p>(3) ・令和6年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり なし</p> <p>・前回改定 平成25年度</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>審査料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>150,000</td> <td>0</td> <td>580,000</td> <td>260,000</td> <td>840,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>580,000</td> <td>200,000</td> <td>780,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>580,000</td> <td>200,000</td> <td>780,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料		150,000	0	580,000	260,000	840,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					580,000	200,000	780,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					580,000	200,000	780,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料																																					
	150,000	0	580,000	260,000	840,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			580,000	200,000	780,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			580,000	200,000	780,000																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>少人数によるきめ細やかな授業、授業を補完する計画的な補習等、教師の目が十分に行き届く教育指導体制を引き続き維持します。各学年にプレップ総合コース、グローバル英語コース、STEAM探究コースを導入しており、さらに高いレベルでの教育の実践に努めます。納付金の使途については、今後も公明性・経営効率に十分留意します。引き続き生徒のよりよい教育環境の維持、更なる充実を第一に考え、各種経費節減に向け鋭意取り組みを強化いたします。</p>																																										
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>建学の精神である「徳と知」をより解りやすい4つの行動で表した『ミッションコミットメント』（「尊ぶ」：人と自分、物と自然の全てに敬意をもって向き合う。「対話する」：心をこめて聴き、かわりから学び、真理を探究する。「共感する」：心を開き、人や時代の要請に敏感な感性を持つ。「行動する」：対話し、決断し、責任を持って人々の幸せと世界平和のために行動する。）を具体化するために各学年の重点ポイントを設定、諸行事、ロングホームルーム等の活動に連動させています。また、昨今、課題となっている不登校や教育支援が必要な生徒に対しての体制を整える準備を行う予定です。施設設備においては、ICT設備をさらに充実させ、新しい時代の学びを支えます。</p>																																										
<p>(5) 令和6年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>家計急変等により学費納入が困難な世帯に対しては、「本校独自の授業料減免制度」を適用し、少しでも授業料の負担が軽減できるように努めます。</p>																																										
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>京都府の「あんしん修学支援制度」の趣旨を尊重し、制度に見合った「本校独自の授業料減免補助金」を適用し、保護者の負担を出来る限り軽減するよう十分留意します。</p>																																										